

四国財務局における多重債務相談の受付状況について 〈令和5年度〉

四国財務局では、借金を抱えてお悩みの方々からの相談に応じるため、専門相談員2名を配置し、多重債務問題の解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて弁護士や司法書士等の法律専門家へ引き継ぎを行っています。

1. 令和5年度の相談件数は136件。

- 相談件数は、前年度（70件）から大きく増加しました。

2. 相談者の内訳は、年齢別では中高齢者、職業別では給与所得者が多数。

- 相談者の内訳をみると、「60代以上」が27.2%、「50代」が19.1%、「40代」が21.3%となっており、これらの世代で67%以上を占めています。
- 職業別では、「給与所得者」が55.1%、次いで「無職（年金生活者を含む）」が30.9%と続いています。
- 世帯年収別の構成比についてみると、400万円未満が72.8%と半数以上を占めていますが、400万円以上の世帯も14.0%あり、世帯収入は低くなくとも多重債務に陥っている状況がうかがえます。

3. 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」が約52.9%。

- 借入金額の内訳をみると、400万円未満が56.6%と半数以上を占めています。
- 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」の割合が52.9%と最も高く、次に「商品・サービス購入」が38.2%、「住宅ローン等の返済」が25.0%、「ギャンブル・遊興費」が19.9%と続いています。

4. 借入れ先は、クレジットカードが28.4%。

- 借入れ先は、「クレジットカード」の割合（28.4%）が最も高く、次いで「銀行」「信金信組等」「ネット銀行」などの金融機関（合計24.0%）が続いています。

5. 無料相談会等の案内のほか、必要に応じて法律専門家へ引き継ぎ。

- 当局相談窓口では、専門相談員が助言を行うほか、「無料相談会等」「法テラス」の案内（合計30.1%）や「弁護士」への引き継ぎ（2.4%）を行いました。

カードローン、クレジットなどの借金問題 ひとりで悩まないで相談してください！

多重債務者相談窓口のご案内（相談無料・秘密厳守）

専用ダイヤル(直通) 087-811-7801

香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎南館7階

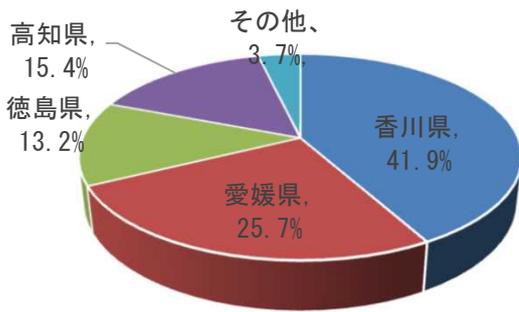
相談受付時間 9時から12時 13時から17時 月曜から金曜（年末年始および祝日を除く）

※ 相談は折り返して伺います。秘密は守られますので、安心してご相談ください。



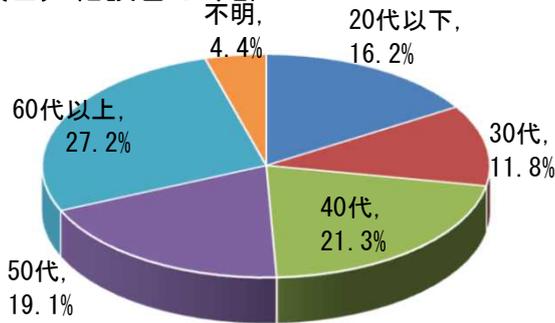
1. 相談者のプロフィール等

(1) 相談者の居住地



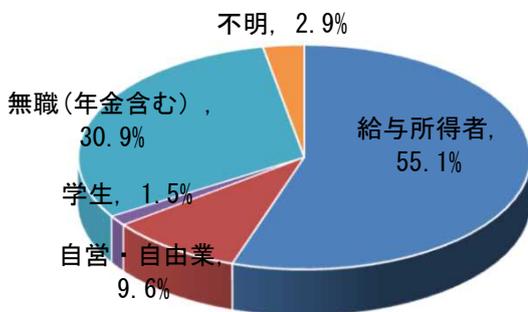
| 居住地 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 香川県 | 57 | 41.9% | 31 | 44.3% | 43 | 45.3% |
| 愛媛県 | 35 | 25.7% | 21 | 30.0% | 27 | 28.4% |
| 徳島県 | 18 | 13.2% | 9 | 12.9% | 6 | 6.3% |
| 高知県 | 21 | 15.4% | 7 | 10.0% | 14 | 14.7% |
| その他 | 5 | 3.7% | 0 | 0.0% | 5 | 5.3% |
| 不明 | 0 | 0.0% | 2 | 2.9% | 0 | 0.0% |
| 合計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

(2) 相談者の年齢



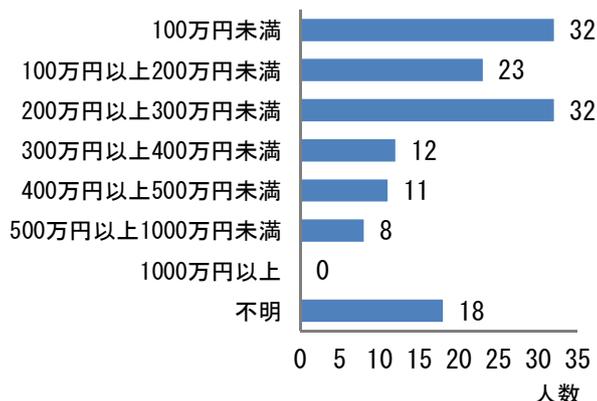
| 年齢 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 20代以下 | 22 | 16.2% | 3 | 4.3% | 10 | 10.5% |
| 30代 | 16 | 11.8% | 9 | 12.9% | 13 | 13.7% |
| 40代 | 29 | 21.3% | 11 | 15.7% | 16 | 16.8% |
| 50代 | 26 | 19.1% | 21 | 30.0% | 25 | 26.3% |
| 60代以上 | 37 | 27.2% | 20 | 28.6% | 20 | 21.1% |
| 不明 | 6 | 4.4% | 6 | 8.6% | 11 | 11.6% |
| 合計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

(3) 相談者の職業



| 職業 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 給与所得者 | 75 | 55.1% | 48 | 68.6% | 58 | 61.1% |
| 自営・自由業 | 13 | 9.6% | 6 | 8.6% | 8 | 8.4% |
| 家事従事者 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 学生 | 2 | 1.5% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 無職(年金含む) | 42 | 30.9% | 15 | 21.4% | 25 | 26.3% |
| 不明 | 4 | 2.9% | 1 | 1.4% | 4 | 4.2% |
| 合計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

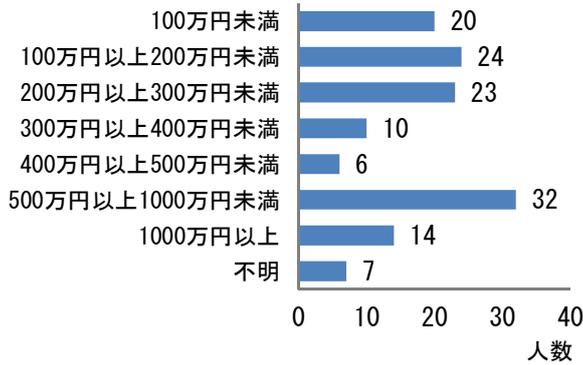
(4) 相談者(世帯)の年収



| 年収 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 100万円未満 | 32 | 23.5% | 6 | 8.6% | 12 | 12.6% |
| 100万円以上200万円未満 | 23 | 16.9% | 17 | 24.3% | 21 | 22.1% |
| 200万円以上300万円未満 | 32 | 23.5% | 10 | 14.3% | 12 | 12.6% |
| 300万円以上400万円未満 | 12 | 8.8% | 11 | 15.7% | 11 | 11.6% |
| 400万円以上500万円未満 | 11 | 8.1% | 6 | 8.6% | 13 | 13.7% |
| 500万円以上1000万円未満 | 8 | 5.9% | 8 | 11.4% | 10 | 10.5% |
| 1000万円以上 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 | 1.1% |
| 不明 | 18 | 13.2% | 12 | 17.1% | 15 | 15.8% |
| 合計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

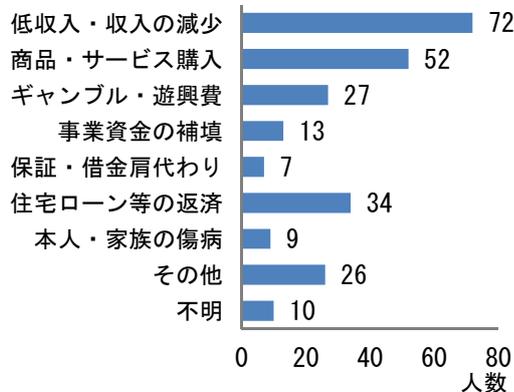
2. 相談内容

(1) 借金の金額



| 借金の金額 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 100万円未満 | 20 | 14.7% | 9 | 12.9% | 13 | 13.7% |
| 100万円以上200万円未満 | 24 | 17.6% | 10 | 14.3% | 17 | 17.9% |
| 200万円以上300万円未満 | 23 | 16.9% | 10 | 14.3% | 10 | 10.5% |
| 300万円以上400万円未満 | 10 | 7.4% | 6 | 8.6% | 12 | 12.6% |
| 400万円以上500万円未満 | 6 | 4.4% | 5 | 7.1% | 5 | 5.3% |
| 500万円以上1000万円未満 | 32 | 23.5% | 15 | 21.4% | 19 | 20.0% |
| 1000万円以上 | 14 | 10.3% | 12 | 17.1% | 17 | 17.9% |
| 不明 | 7 | 5.1% | 3 | 4.3% | 2 | 2.1% |
| 合計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

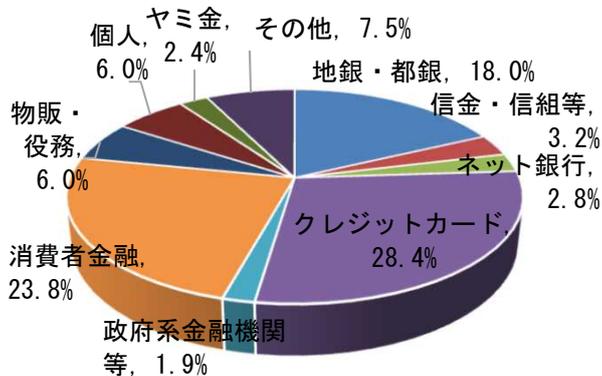
(2) 借入れのきっかけ



| 借入れのきっかけ | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 低収入・収入の減少 | 72 | 52.9% | 36 | 51.4% | 53 | 55.8% |
| 商品・サービス購入 | 52 | 38.2% | 32 | 45.7% | 38 | 40.0% |
| ギャンブル・遊興費 | 27 | 19.9% | 10 | 14.3% | 22 | 23.2% |
| 事業資金の補填 | 13 | 9.6% | 7 | 10.0% | 10 | 10.5% |
| 保証・借金肩代わり | 7 | 5.1% | 2 | 2.9% | 6 | 6.3% |
| 住宅ローン等の返済 | 34 | 25.0% | 10 | 14.3% | 22 | 23.2% |
| 本人・家族の傷病 | 9 | 6.6% | 4 | 5.7% | 12 | 12.6% |
| その他 | 26 | 19.1% | 11 | 15.7% | 18 | 18.9% |
| 不明 | 10 | 7.4% | 3 | 4.3% | 10 | 10.5% |
| 回答者数計 | 136 | - | 70 | - | 95 | - |

※複数回答有

(3) 借入先



| 借入先 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 先数 | 構成比 | 先数 | 構成比 | 先数 | 構成比 |
| 地銀・都銀 | 111 | 18.0% | 47 | 15.7% | 82 | 17.6% |
| 信金・信組等 | 20 | 3.2% | 24 | 8.0% | 23 | 4.9% |
| ネット銀行 | 17 | 2.8% | 7 | 2.3% | 9 | 1.9% |
| クレジットカード | 175 | 28.4% | 105 | 35.0% | 171 | 36.6% |
| 政府系金融機関等 | 12 | 1.9% | 12 | 4.0% | 17 | 3.6% |
| 消費者金融 | 147 | 23.8% | 67 | 22.3% | 90 | 19.3% |
| 物販・役務 | 37 | 6.0% | 19 | 6.3% | 27 | 5.8% |
| 個人 | 37 | 6.0% | 5 | 1.7% | 32 | 6.9% |
| ヤミ金 | 15 | 2.4% | 0 | 0.0% | 3 | 0.6% |
| その他 | 46 | 7.5% | 14 | 4.7% | 13 | 2.8% |
| 借入先数計 | 617 | - | 300 | - | 467 | - |

※複数回答有

3. 対応結果



| 対応結果 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 先数 | 構成比 | 先数 | 構成比 | 先数 | 構成比 |
| 弁護士に引き継ぎ | 4 | 2.4% | 7 | 7.8% | 3 | 2.8% |
| 司法書士に引き継ぎ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 3 | 2.8% |
| 無料相談会等を案内 | 19 | 11.4% | 16 | 17.8% | 19 | 17.6% |
| 法テラスを案内 | 31 | 18.7% | 17 | 18.9% | 14 | 13.0% |
| 相談員による助言等 | 112 | 67.5% | 50 | 55.6% | 69 | 63.9% |
| 紹介先数計 | 166 | - | 90 | - | 108 | - |

※複数回答有

※各頁の構成比の合計は、四捨五入等のため100%にならない場合があります。

4. 相談・対応事例

◆事例1 無計画なクレジットカードの利用や、親の介護費用、子の学費が高み返済ができない (債務者：50代 パート 債務総額 950万円)

【相談内容】

深く考えずにクレジットカードで欲しい物を買っていたが、親の介護費用や子供の学費もかかり、気が付くと借金が膨れ上がっていた。数年前から限界だと感じていたが自己責任だと思い誰にも相談できず、家族も借金のことは知らない。自分に生命保険を掛ければ保険金で支払いができるのではないかと思いつめている。家族に知られずに何とかできないだろうか。

【相談への対応】

「借金の問題は必ず解決する。家庭のための借金であり、相談者ひとりの問題ではない。勇気はあるだろうが家族に正直に話をして欲しい。もっと早く言ってくれれば一緒に考えられたとなることも多い」と助言した。

相談者の収入等を考えると自己破産か個人再生による解決が適切だと思われたため、居住地近くの弁護士を案内した。

後日、相談者の配偶者より、「本人から話を聞いて弁護士に相談した結果、個人再生を委任することとなった、もっと早く借金で困っていることに気づけていればよかった、今後は家族全員で頑張っていきたい」との連絡があった。

◆事例2 交通事故の後遺症のため仕事に就けず、生活費のためにした借金が返済できない (債務者：30代 無職 債務総額 350万円)

【相談内容】

交通事故に遭い、その後遺症により仕事ができない。家族と一緒に実家に住んでいるが、高齢や病気のため働けない者がほとんどだ。生活費のためにやむなく借金をしたが、返せない。ローンの返済が滞ったため車も引き上げられてしまった。食べるものもなくフードバンクにお世話になっている。どうすればいいか分からない。

【相談への対応】

「家族の収入が限られており、生活保護を申請すると同時に借金の整理を進めていくのが良いと思われる。生活保護の受給が開始されても、借金は返済不能の状態であるため、自己破産で解決することが適当だろう」と助言した。

後日、相談者より、「法テラスの弁護士に相談をした結果、自己破産をすることになり、生活保護については公営住宅の入居ができれば、受給が可能の見込みとなった」との連絡があった。

◆事例3 SNS投資詐欺の被害を受け、借金の返済が困難になっている (債務者：50代 無職 債務総額 850万円)

【相談内容】

著名な個人投資家を騙るSNS投資詐欺に遭い、借金をして、複数の金融機関に合計で300万円を現金で振り込んでしまった。相手方の指示に従い外国口座を作り表面上の利益は出たが、出金するには多額の所得税がかかると説明を受け、怪しいと思い消費生活センターに相談した。各金融機関に連絡したところ、一つの口座はすでに凍結されていた。警察にも被害届を出している。

投資のためにした借金に加え、生活費や教育費のため、合計で850万円の借金がある。

【相談への対応】

「投資被害の回復は困難だが、借金については債務整理によって解決することが可能」と助言した。

居住地近くの初回無料で相談可能な法律事務所を案内したところ、自己破産の手続きを進めることとなった。